

公共工事の品質確保に向けた取組 ～「住んでよし、訪れてよしの新潟県」を目指して～

1. はじめに

世界中が新型コロナウイルス感染症だけでなく、自然災害、地球環境、気候変動などの地球規模の課題を抱えるとともに、ロシアによるウクライナ侵攻に絡む安全保障、物価高騰、経済不安など多くの社会課題を抱えております。

このような課題に対して、SDGsの実現が重要視されており、本県においても脱炭素社会、循環経済の実現や防災・減災、国土強靱化に向けた取組の推進により、持続可能な社会づくりを関係者が連携して進めていく必要があります。

2. 新潟県における建設業の現状と課題

建設産業は、「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」において、緊急事態宣言時においても事業の継続が求められる重要な事業者として位置づけられており、「安全に安心して暮らせる、暮らしやすい新潟」「地域経済が元気で活力ある新潟」の実現に向けて必要不可欠な産業です。また、SDGsの達成においても多くの役割を担っています。

しかし、現在の建設産業は、将来の担い手確保や労働環境の整備、ICT活用などによる生産性向上、経営基盤の安定化といった課題を抱えており、その課題解決が急務となっています。

3. 公共工事の品質確保に向けて

令和元年の新担い手3法の改正に伴い、品質確保などに向けた発注者の責務として、施工時期の平準化等による働き方改革の推進、ICT活用による生産性向上、緊急性に応じた適切な入札・契約方法の選択による災害時対応の強化が求められております。

また、長時間労働や休日が少ないことなどが、若者が建設業への入職を敬遠する要因の一つと考えられています。新担い手3法の改正に合わせ、長時間労働の解消や生産性向上に向け、以下のような取組を実施しております。

1) 施工時期の平準化を推進

受注者の繁忙期を緩和する施工時期の平準化の推進について、主に次の事に取り組んでおります。

まず、ゼロ交付金事業や県単独費の債務負担といった債務負担行為の活用。

そして、柔軟な工期設定を可能とする施工時期選択可能工事制度の実施などに取り組んでおります。

2) 週休2日工事の導入拡大

建設業の担い手育成と確保を図るためには、週休2日取得は必須と考えます。土木工事において週休2日モデル工事を実施し、4週6休以上を達成した場合の費用補正を行っております。

さらに、令和4年4月からは現場閉所が困難な土木工事において、現場で働く方々が交替しながら休暇を取得する週休2日取得モデル工事（交替

新潟県知事 **はな ずみ ひで よ**
花 角 英 世



制)を導入しております。

3) 中長期発注見通しの公表

令和3年度からの新たな取組として、中長期発注見通しを公表することで、受注者の中長期的な経営、ひいては、担い手育成と確保の後押しになると考えます。

総事業費5億円以上又は事業予定期間5年以上の事業を対象に令和3年12月から公表を始め、定期的に更新してまいります。

4) ICT活用の推進

生産性向上のため平成28年度からICT活用工事の試行を受注者希望型で開始し、対象工種を順次拡大してきました。令和2年度から発注者指定型を導入し、令和4年度からICT活用工事の実施を総合評価落札方式の加点対象に加え、普及促進を図ることで生産性向上を促してまいります。

また、初期投資などを理由にICT活用工事への実施をためらう企業もあることから、経営者を対象としたICTマッチング体験会を実施しております。ICT活用工事を実施した企業による講演や展示会形式で建設企業とメーカーとの橋渡しを行い、メリットを実感してもらう狙いがあります。

4. Made in 新潟 新技術普及・活用制度

新潟県が、県内の企業が開発した土木、港湾及び建築分野の新技術を募集し、県などが発注する工事で使用した結果を広く情報提供するのが「Made in 新潟 新技術普及・活用制度」であります。

本制度により、新技術の普及・活用を促進することで、県内の建設関連業の活性化に資することを目的としています。施工状況などをYouTubeチャンネルでご覧いただくことが出来ます。



ホームページ



YouTubeチャンネル

5. おわりに

建設業には、社会基盤を維持するとともに、激甚化する災害や冬期の道路除雪への対応が求められており、広い県土を有する本県においては、地域ごとに一定規模の人材を確保しておく必要があります。

新潟県では、建設業を支えていくため、建設業団体と連携を図りながら、建設業の魅力を伝え、担い手育成と確保、働き方改革に取り組む考えであり、関係者の皆様におかれましては、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

結びに、本年11月には新潟県において、一般社団法人全日本建設技術協会の建設技術講習会が開催されます。現場研修では一般国道403号三条北バイパス工事〔新潟県〕や万代島（新潟港西湊地区）の賑わい創出事業〔新潟市〕、国道7号栗の木道路・柴竹山道路整備事業〔北陸地方整備局〕の整備状況もご覧いただけます。移動に際しては感染症対策を十分に行っていただくとともに、気を付けてお越しください。